

事務事業評価表 平成22年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 市民スポーツ活動の充実

基本事業 施策の総合推進

事業名 **スポーツ普及奨励事業 (青少年スポーツ賞顕彰)**

[0517]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>スポーツ競技団体登録児童生徒</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>各種スポーツ競技において優秀な成績を収めた選手を表彰することによって、競技スポーツの活性化を図る。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>全国大会で、優秀な成績記録を収めた高校生以下の児童・生徒・・・スポーツ賞 全道大会で1位の成績記録を収めた高校生以下の児童・生徒・・・スポーツ奨励賞 全道大会で2位又は3位の成績記録を収めた小中学生・・・教育委員会表彰 ただし、同等又は上位の表彰を受けた場合は同等又は下位の賞を受けられない。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	スポーツ競技団体登録児童生徒数	人	1,413	1,434	1,382	1,382
対象指標2						
活動指標1	審査会開催数	回	3	3	3	3
活動指標2						
成果指標1	受賞者数	人	57	68	62	41
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	1,110	1,232	1,168	822
正職員人件費 (B)		千円	1,256	1,254	1,245	1,249
総事業費 (A) + (B)		千円	2,366	2,486	2,413	2,071

費用内訳	
21年度	報償費 1,013千円、需用費 155千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	政策として制度化された。	事業を取り巻く環境変化	
--------	--------------	-------------	--

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

スポーツ大会で顕著な成績を収めた青少年を表彰することで、青少年の競技スポーツの振興を図ることができるとともに、その健全育成につながるから、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

継続して成績優秀者を表彰することは、競技スポーツが活性化し、青少年年代における競技人口の拡大につながる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

例年、多くの市民が好成績を収め、スポーツ賞を受賞している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

児童・生徒が減少傾向にあることから、各種スポーツの競技人口を維持することが難しくなっているが、この表彰を維持・継続することによって、上を目指すといった向上心が生まれれば、さらなる向上が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

表彰盾などの授与物品等が値上がりしている中で、効率的に当事業を運営しており、削減は難しい。また、文化賞と同時に表彰を行っているため、事業内容を変更する場合には調整を行う必要がある。